

静岡県富士市 田子の浦港第3波除堤機能強化事業

背景

田子の浦港は、静岡県東部の産業経済を支える**物流拠点港**として大きな役割を果たしてきた。

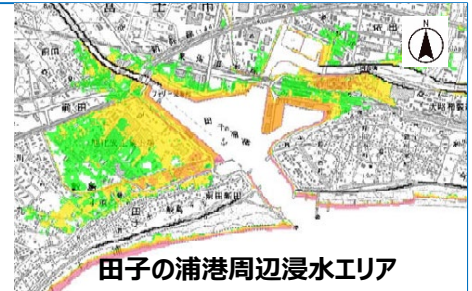
平成25年には、富士山が**世界文化遺産**に登録され、「富士山に一番近い港」として、**産業面**だけでなく、**観光面**からも大きな期待が寄せられている。



現状の課題

切迫する南海トラフ巨大地震を想定した**最大クラスの津波**による**浸水被害想定**では、田子の浦港周辺において、**約168ha**が浸水するとされている。

浸水エリアには、**多くの企業・住宅が存在**しており、発災時、**産業活動（サプライチェーン）へ与える影響は大きい。**



事業の目的

切迫する南海トラフ巨大地震に備え、**災害に強い港づくり**を促進！

- 減災目標① 人命を守る！
- 減災目標② 経済的損失を軽減する！
- 減災目標③ 早期復旧を図る！

田子の浦港
静岡県東部の物流拠点港
復旧・復興の要

これまでの取組

⑤ソフト対策（逃げる・備える）

富士市津波避難行動計画に基づく避難訓練の実施
企業・事業所の連携による地域防災力向上への取組

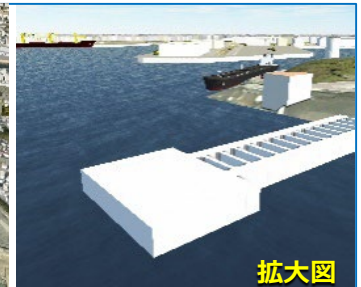
⑧ハード対策（威力を弱める）

本事業 第3波除堤の機能強化

⑤
⑧
の
多重
防御



⑤ソフト対策



⑧ハード対策

静岡県富士市 田子の浦港第3波除堤機能強化事業

第3波除堤機能強化事業とは？

南海トラフ巨大地震クラスの最大津波が襲来すると、その威力で**倒壊**する恐れがある**第3波除堤**を**耐震補強**することで、港内に入ってくる**津波の量を減らし、浸水被害を最小限に抑える。**



最大クラスの津波が襲来しても
第3波除堤が倒れないように耐震補強！



事業
内容

成果・目標

期待される4つの効果！

- ① 人的被害(死者数)が**限りなくゼロ**になる！
- ② **逃げるための時間を稼ぐ**ことができる！
- ③ **浸水面積が約4分の3に減少**する！
対策前168ha ➡ 対策後129ha
- ④ **住宅・事業所被害額が概ね半減**する！
対策前110億円 ➡ 対策後61億円

得られる
成果等

企業に求めるもの

企業版ふるさと納税による支援
地域企業との事業連携

企業のメリット

完成時には、市ホームページ・広報誌での企業名の公表や、報道提供による**企業イメージアップ！**

問い合わせ先

富士市産業政策課港湾振興室 電話番号:0545-55-2816